

第六次大野市総合計画策定幹事会（令和元年度第1回）
各部会の報告

安全安心なまち部会

○今後起こること

- ・ 中部ブロック防災訓練（令和元年度11月）
- ・ 市制70周年（令和6年）
- ・ 越前大野城の耐用年数60年（令和10年）建て替えが必要？
- ・ 越前大野城の築城450年（令和12年）

○課題

- ・ 建設業界の人手不足、有資格者の高齢化（資格のある高齢者は、リタイアできない。）
人材育成する地元の高校（奥越明成高校）に土木科が無い。（県内の高校には、2高しか土木科がない。）
- ・ 除雪オペレーター不足
- ・ 建設工事の減少（現在は中部縦貫自動車道や北陸新幹線の工事があるが…）
- ・ 人手不足に対応するために外国人労働者の受入れが考えられるが、受入体制が整っていない。
- ・ 異常気象などによる自然災害の増加
- ・ 消防団の人手不足（現在、活性化委員会で検討中）
- ・ バスの運転手不足、バスの減便
- ・ 越美北線の減便、廃線
- ・ 空家管理

令和12年度までの主な取り組み

年度	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
人口	31,950	31,489	30,829					28,568					26,323
予定される 主な 出来事	<ul style="list-style-type: none"> ● 中部縦貫自動車道県内全線開通(国に要請) ● リニア中央新幹線 ● 北陸新幹線敦賀開業(政府与党申合せ) (品川~名古屋間)開業予定 ● 国道158号境寺~計石バイパス開通 ● 重点道の駅「(仮称)結の故郷」供用開始予定 ● (仮称)大野市産業団地一部分譲開始(予定) ● (仮称)大野市産業団地分譲 ● 大野市民俗資料館供用開始 ● 新文化会館 (計画) ◆ 『Society5.0』(IoT) 革新の進展 ◆ 県内JAの統合 ◆ ラグビーW杯2019 ◆ 東京オリンピック・パラリンピック ◆ 大阪・関西万博 ◆ 幼保無償化 ◆ ワールドマスターズゲームズ2021関西 ◆ 消費税引き上げ ◆ マイナンバーカードによる各種証明書の一体化 												
	<p>◆ 2025年問題(団塊の世代が75歳以上に)</p> <p>◆ SDGs目標年◆</p>												

R1
U.2
中部
アロウ
防災訓練

R6
市制
70
周年

R10
大野城
耐震
年数
(60年)

R2
築城
450
年!

地元
高校と
土庫
がない

建設
業会
の
人手
不足

除雪
機
不足

建設
工事
の
減少

災害
の
増加
記録

湘
湖
の
人手
不足

越美
北線
の
存続

バス
運転手
不足
→
減便

個人
遊歩
の
受入制

空き
家
対策
(管理)

※人口:H30,R1年度は福井県推計人口(4月1日時点)、「平成27年国勢調査」の結果を基礎とする
R2年度以降は国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月30日公表 推計人口

くらし環境部会

○今後起こること

- ・ 保育園の数が減ると思っていたが、現状はあまり減っていない。今後は減っていく。
- ・ 2025年以降、高齢者自体も減っていく。多死時代。
- ・ 人生100年時代。健康寿命を延ばす取り組みが必要。定年の概念がなくなるかも。
- ・ 老人会の生きがいとして、地域づくりへの参画が必要。
- ・ AIやロボットの活用。
- ・ 中縦開通で、高齢者住宅等による高齢者の受け入れが増えていくのでは。高速交通網の整備で、人口が増えるかは分からない。

○課題

- ・ 中縦開通で治安が悪くなるかもしれないという不安。
- ・ 外国人は間違いなく増える。
- ・ 事業継続できるのか。担い手不足。
- ・ 総合病院がない。開業医の後継者不足で病院数は減る。
- ・ 大野市の自然や食べ物などの環境が良ければ、都会から帰ってくる若者も増えるのでは？
- ・ ニチコン大野の採用枠があるが、市内から応募する人がいない。
- ・ そもそも子を産む層が大野に少ないので、少子化が加速している。
- ・ 子育てにいいことが大野にあればいいが、産科がないことがネック。
- ・ 女性の育休が取りにくい環境。夫が非協力的。



令和12年度までの主な取り組み

年度	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
人口	31,950	31,489	30,829					28,568					26,323
予定される 主な 出来事	<p>● 中部縦貫自動車道県内全線開通(国に要請) ● リニア中央新幹線 ● 北陸新幹線敦賀開業(政府与党申合せ) (品川~名古屋間)開業予定 ● 国道158号境寺~計石バイパス開通</p> <p>● 重点道の駅「(仮称)結の故郷」供用開始予定 ● (仮称)大野市産業団地一部分譲開始(予定) ● (仮称)大野市産業団地分譲開始(予定) ● 大野市民俗資料館供用開始(計画) ● 新文化会館共用開始(計画)</p> <p>◆ 『Society5.0』(IoT・AIなど技術革新の進展)</p> <p>◆ 県内JAの統合 ◆ 2025年問題(団塊の世代が75歳以上に)</p> <p>◆ ラグビーW杯2019 ◆ 東京オリンピック・パラリンピック ◆ 大阪・関西万博</p> <p>◆ 幼保無償化 ◆ ワールドマスターズゲームズ2021関西 ◆ SDGs目標年◆</p> <p>◆ 消費税引き上げ ◆ マイナンバーカードによる各種証明書の一体化</p>												
	保育園の数の減少												
定年延長	<p>健康な高齢者の活躍</p> <p>治安が良くなる</p> <p>外国人の増加</p> <p>出生数の減少</p> <p>若い人がオープンな車</p> <p>様々な事業の継続がとぎれなくなる</p> <p>医療関係の後継者不足</p> <p>多死時代</p> <p>子育てしやすい環境・安心な出産</p>												

※人口: H30, R1年度は福井県推計人口(4月1日時点)、「平成27年国勢調査」の結果を基礎とする
 R2年度以降は国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月30日公表 推計人口

産業部会

○今後起こること

- ・ 事業所の後継者不足
- ・ 越美北線の九頭竜湖までの開通 50 周年（2021 年？）、観光面のチャンス
- ・ キャッシュレス決済の普及 ⇔ ※高齢者に普及するのか、未だ多い現金支払い
- ・ 県内 JA の統合

○課題

- ・ 事業所の後継者不足、それに伴う商工会議所の会員数の減少
- ・ キャッシュレス決済の普及に対し、市内の高齢者への配慮（未だ現金支払いが多い）
- ・ 中部縦貫自動車道の開通と道の駅の供用開始に伴う、まちなかの事業者への影響（二次交通を含む、まちなかへの誘導策）
- ・ 道の駅の供用開始に伴い、観光客が道の駅で用を済ませて、大野を素通りする恐れ
- ・ 北陸新幹線の延伸に伴い、越美北線の越前大野駅－九頭竜湖駅間などが廃止される恐れ
- ・ 天空の城やお城ブームで誘客ができてきているものの、ブームは落ち着いてきているように感じられるので、ほかの誘客に向けたコンテンツづくり
- ・ まちなか観光で、ランチができるところが少ない。食事は観光の弱点の一つ（バスでお弁当を食べることもある）
- ・ 観光パンフレットに賑わう七間朝市が掲載されているが、毎日あのような朝市を期待されても困る。心が痛む。
- ・ 中部縦貫自動車道の開通に伴い、人のみならず野菜などの物品の輸送面も向上
- ・ ダムツーリズムが人気なので、ダムを活用した観光ツーリズムをやってはどうか。（京都で行われており人気が高い）



令和12年度までの主な取り組み

年度	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
人口	31,950	31,489	30,879					28,568				26,323
予定される 主な 出来事	<ul style="list-style-type: none"> ● 中部縦貫自動車道県内全線開通(国に要請) ● リニア中央新幹線 (品川~名古屋間)開業予定 ● 北陸新幹線敦賀開業(政府与党申合せ) ● 国道158号境寺~計石バイパス開通 ● 重点道の駅「(仮称)結の故郷」供用開始予定 ● (仮称)大野市産業団地一部分譲開始(予定) ● (仮称)大野市産業団地分譲開始(予定) ● 大野市民俗資料館供用開始(計画) ● 新文化会館共用開始(計画) ◆ 『Society5.0』(IoT・AIなど技術革新の進展) ◆ 県内JAの統合 ◆ ラグビーW杯2019 ◆ 東京オリンピック・パラリンピック ◆ 2025年問題(団塊の世代が75歳以上に) ◆ 大阪・関西万博 ◆ 幼保無償化 ◆ ワールドマスターズゲームズ2021関西 ◆ 消費税引き上げ ◆ マイナンバーカードによる各種証明書の一体化 ◆ SDGs目標年◆ 											
	<p>Handwritten notes and additional project details:</p> <ul style="list-style-type: none"> Handwritten: 輸送の効率化 (Efficiency of transport) Handwritten: まなみの水 (Manami no Mizu) Handwritten: 商店数の減少・後継者不足 (Decrease in number of shops, lack of successors) Handwritten: 越美北線開通50周年(丸蔵丸湖) 60周年(越前大路) (50th anniversary of the Echigo-Miura Line opening (Maruzumaru Lake) 60th anniversary (Echigo Dori)) Handwritten: キャッシュレス進出(高齢者対応) (Cashless expansion (elderly support)) Handwritten: 外国人観光客への魅力 (Attraction for foreign tourists) 											

※人口: H30,R1年度は福井県推計人口(4月1日時点)、「平成27年国勢調査」の結果を基礎とする
R2年度以降は国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月30日公表 推計人口

教育部会

○今後起こること

- ・小中学校再編（時期未定）
- ・文化財保存活用地域計画作成（2021年ごろ）
- ・第60回名水マラソン（2024年）
- ・第40回大野市美展（2019年）
- ・第50回大野市美展（2029年）

○課題

- ・スポーツ協会、婦人会、文化協会など各種団体等の担い手不足
- ・文化等の伝承者、後継者問題
⇒各種団体の全国本部のようなところは問題ないが、地方の組織ほど深刻な問題となっている。
- ・行政区によって年代構成が様々（高齢者が多い区、若者が多い区）
- ・若者が多い区は新興住宅地であり、同じ区内でも班によって若者が多い班、高齢者が多い班に分かれている区がある。
- ・市内には高校までしかなく、高度な学習の場がない。
⇒特定のジャンルに特化したものがあるとよい。
⇒学生など若者が集まる。
- ・電気料金をはじめ、生活に必要な経費が高騰している。
- ・大野の特徴である「城下町」「水」は全国にライバルが多い。
- ・子育て世代が遊びに行く場所がない。
⇒子を遊ばせている間、親同士も交流できるとよい。そのような場所がない。
- ・観光面で市街地と郊外の連携が不足している。
⇒中島でキャンプをするなど滞在型観光を進めては。
⇒ダムを観光資源としてさらに活用しては。
- ・道の駅をうまく活用しなければならない。

○大野市の特徴

- ・教える側、学ぶ側ともに特に年配の方の学ぶ意欲が高い（県内でも断トツ）
⇒サロン活動が活発
- ・若者は大野が大好きであり、外に出た若者も機会があれば大野に戻りたいと考えている。

